「洪水浸水想定区域図」(中小河川も含む)と「地先の安全度マップ」の公表について

資料6

「洪水浸水想定区域図」(中小河川も含む)

令和3年度　水防法改正
→中小河川も新たに対象とした
　洪水浸水想定区域を指定
　令和8年3月31日に中小河川(443河川)も
　含めた滋賀県　洪水浸水想定区域図を公表

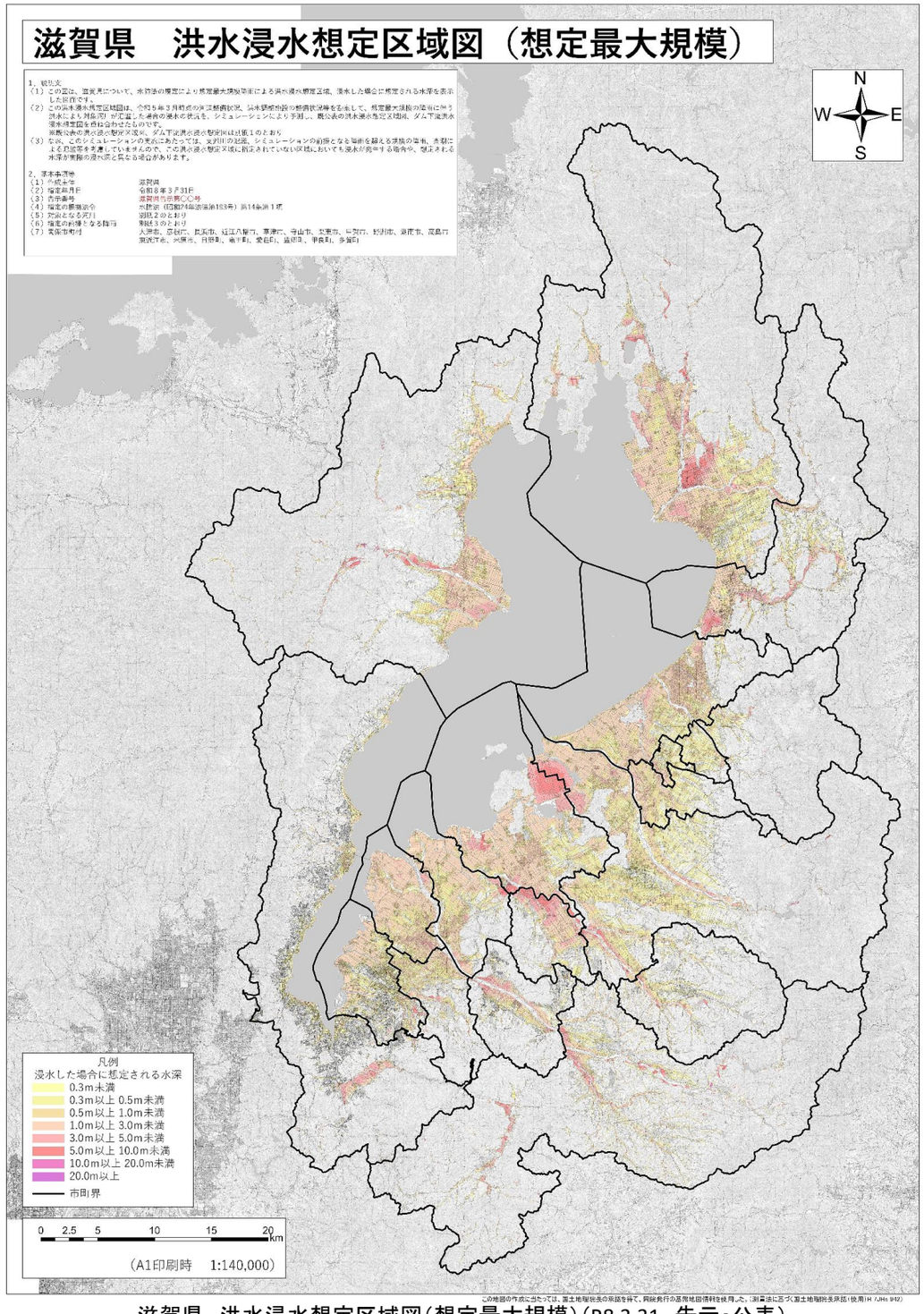
〇公表方法
　洪水浸水想定区域図　A1図面配布
　滋賀県 洪水浸水想定区域図　HP公表
　滋賀県防災情報マップ　反映

今回の洪水浸水想定区域図の特徴

●県内全ての居住エリアの浸水深を表示
　・身近な水路等のリスクを含めた、
　　1000年確率以上の浸水リスクを公表

●多段階の浸水リスクを公表
　・地先の安全度マップでの10～200年
　　確率の雨に加え、想定し得る最大規模
　　(1000年以上)の浸水リスクを公表
→避難計画や土地利用等、幅広く活用が可能

「洪水浸水想定区域図」(中小河川も含む)



滋賀県　洪水浸水想定区域図(想定最大規模)(R8.3.31　告示・公表)

「洪水浸水想定区域図」と「地先の安全度マップ」および国の動向について

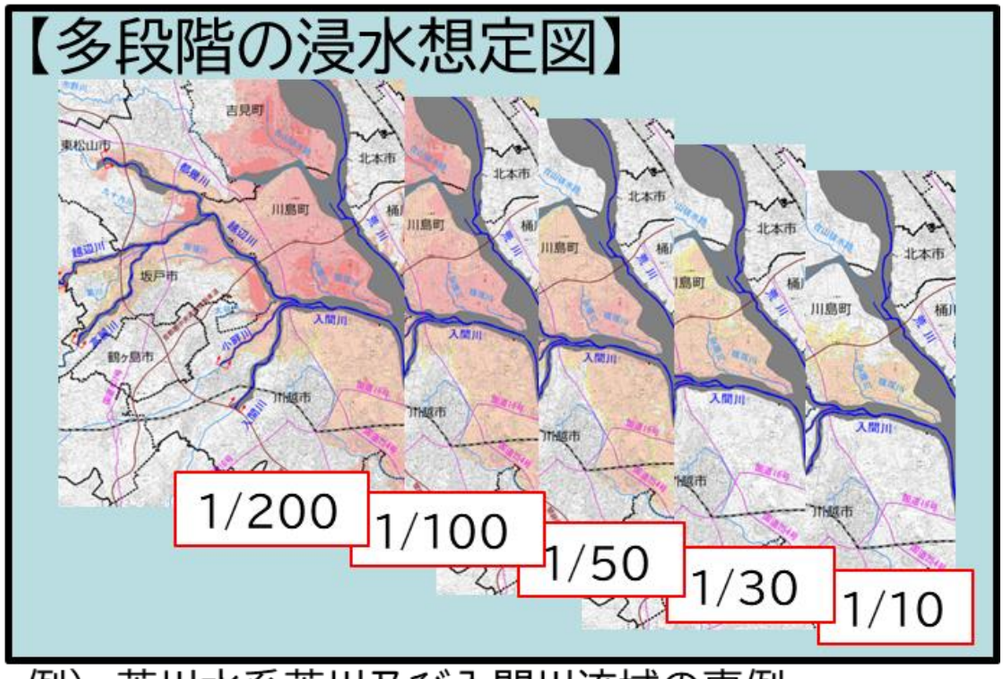
「洪水浸水想定区域図」と「地先の安全度マップ」のイメージ

氾濫を想定する対象河川	浸水由来		降雨確率規模			
	外水	内水	1/10	1/100	1/200	想定最大規模
主要河川＋その他河川	○	○	地先の安全度マップ			洪水浸水想定区域図

- ■ 主要河川　：洪水予報河川、水位周知河川
- ■ その他河川：主要河川以外の県管理河川かつ河川の周辺に住宅、要配慮者利用施設等が存在する河川等

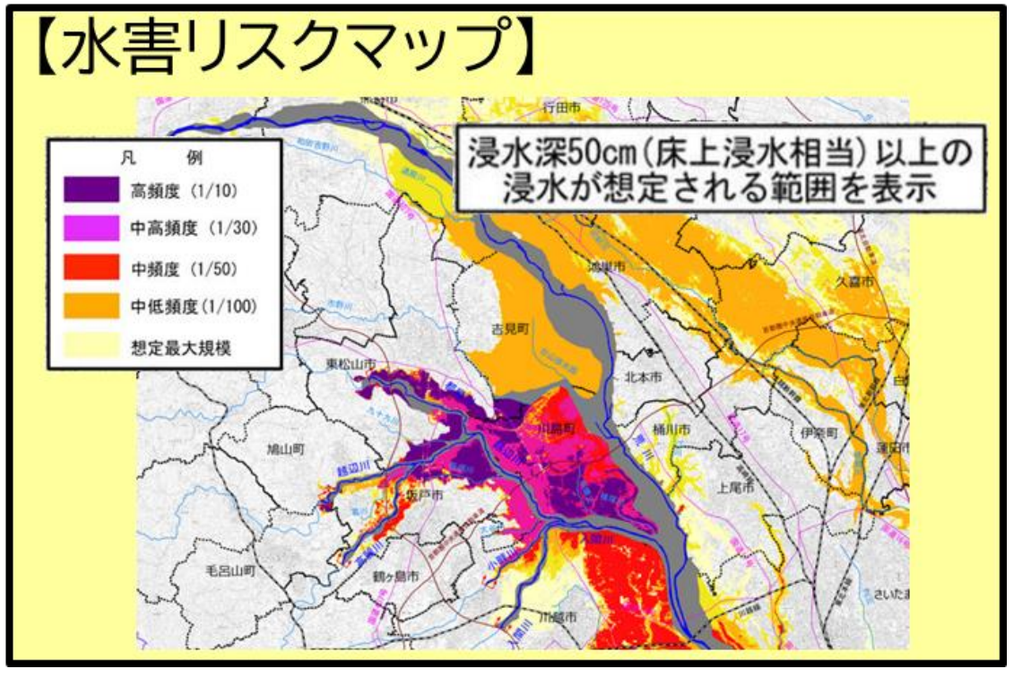
国の動向

【多段階の浸水想定図】



例）荒川水系荒川及び入間川流域の事例

【水害リスクマップ】



国も直轄河川において想定最大規模だけでなく、
多段階のリスクを示したマップの作成を進めている

「洪水浸水想定区域図」と「地先の安全度マップ」使い分けについて

「洪水浸水想定区域図」→想定し得る最大規模の雨を県内全域で降らせて、
中小河川・大河川の最大の浸水リスクを表示

→どの雨が降っても最大のものが一目で把握できるように整理を行った
活用例）ハザードマップにて、避難場所や危険個所の把握
自宅の最大リスクを把握等

「地先の安全度マップ」（6月24日に公表済）
→10、100、200年等の複数の段階を表示
→どのぐらいの頻度で浸水するのかというリスクを段階的に示している

活用法：浸水の生じやすさや浸水の発生頻度を確認することにより、
早い段階での避難計画等に幅広く活用可能
滋賀県：「地先の安全度マップ」にて、「浸水の生じやすさ」や「浸水の発生頻度」
を示す水害リスク情報を公表

	地先の安全度マップ			洪水浸水想定区域図
確率年	10年	100年	200年	1000年以上
雨量	最大50㎜/hr	最大109㎜/hr	最大131㎜/hr	河川流域ごとに設定
活用例	・まちづくり計画 ・早い段階での水平避難	・避難経路	・避難経路 ・建築規制	・最大浸水リスクを把握

→水害HMには
「地先の安全度マップ」のページを誘導いただき、
多段階リスクを確認する等、
幅広く御活用いただきたい